

## GIGAスクール構想実現に向けた各種計画等について

### 1. ICT活用計画及び達成状況を踏まえたフォローアップ計画

#### (1) 目標及びロードマップ

##### ① 目標

学習者用端末による、より一層充実した学習活動を実現するため、学習者用端末活用の具体的な目標を次のとおりとします。

令和5年度までに全ての教員が学習者用端末の特性を活かした授業を行えるようになることを目的とし、学習者用端末を活用する場面を以下のように設定する。但し、実際に学習者用端末を活用する中で、必要があれば数値や記載は見直しを行うものとする。

- ・中学校においては、各単元3時間以上設定する。
- ・小学校5, 6年においては、「5教科」で1日1～2時間以上、「技能教科」で1時間以上設定する。
- ・小学校1～4年においては、1日1時間以上設定する。

※学習者用端末を活用する場面とは、双方向による授業を初め、教員が授業に必要な情報を児童生徒に学習者用端末を使用して表示することも含める。

※5教科とは国語科、社会科、算数科、理科、外国語科を指す。

##### ② 実現に向けたロードマップ

前項の目標を達成するため、令和2年度から令和5年度までの各年度の学習者用端末活用時間のロードマップを次のとおり示します。但し、実際に学習者用端末を活用する中で、必要があれば目標と同様に数値や記載の見直しを行います。

##### 【令和2年度】

全ての教員が学習者用端末の可能な機能を把握し、授業で試してみる。

##### 【令和3年度】

全ての教員が学習者用端末を活用する場面を以下のように設定する。

- ・中学校においては、各単元1時間以上設定する。
- ・小学校5，6年においては、「5教科」で1日1時間設定する。
- ・小学校1～4年においては、週1時間以上設定する。

#### 【令和4年度】

全ての教員が学習者用端末を活用する場面を以下のように設定する。

- ・中学校においては、各単元2時間以上設定する。
- ・小学校5，6年においては、「5教科」で1日2時間設定する。
- ・小学校1～4年においては、週3時間以上設定する。

#### 【令和5年度】

全ての教員が学習者用端末を活用する場面を以下のように設定する。

- ・中学校においては、各単元3時間以上設定する。
- ・小学校5，6年においては、「5教科」で1日1～2時間以上、「技能教科」で1時間以上設定する。
- ・小学校1～4年においては、1日1時間以上設定する。

### (2) 指導体制の強化や働き方改革（校務の効率化）への対応

#### ① 児童生徒への指導体制強化

児童生徒への指導体制を強化するため、令和3年度よりICT支援員を3人配置する。（3.6校に1人配置）

【参考】「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」におけるICT支援員に係る目標水準は4校に1人配置

#### ② 効率化による教職員働き方改革

デジタル教科書の活用、学習者用端末での教材等の表示などにより、授業の準備や授業中の負担を軽減する。

また、打合せや連絡を既存の校務支援システム上で実施することで校務の効率化を推進する。

### (3) 達成状況を踏まえたフォローアップ

実際の学習者用端末の利用状況などを確認したうえで、教員の熟練度に応じて、ICT支援員による理解度ごとの研修を継続して実施する。

## 2. 通信ネットワーク環境整備計画

全小中学校に国が基準として示した校内LAN（幹線部分が10Gbps対応のもの）を「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金」を活用し、令和2年度中に整備する（令和3年3月31日に閉校する唐竹小学校を除く）。

インターネット接続については、同時利用率を考慮して1校あたり1Gbps程度の通信速度を確保するよう令和2年度中に増強する。

## 3. 学習者用端末配備計画

小学校児童及び中学校生徒が学習者用端末を1人1台利用できるように、「公立学校情報機器整備費補助金」を活用し、令和2年度中に5,380台を配備する。

## 4. 広域・大規模での共同調達実施計画

学習者用端末は愛知県の共同調達により、次のスケジュールにて令和3年2月までに整備する。

### 【スケジュール】

令和2年8月	愛知県共同調達により業者の決定
9月	市議会にて契約の承認議決（議決後に業者と契約）
令和3年2月	学習者用端末の設定を完了し、納品